

平成30年度 沖縄公庫宮古支店の融資実績について
～ 宮古圏域の持続可能な地域社会づくりに向け～

平成30年度の融資金額は50億58百万円

1. 沖縄振興開発金融公庫宮古支店（支店長：桑江賢）の平成30年度融資実績は、485件（前年度比0.4%増）、50億58百万円（同25.1%減）となりました。大型公共工事の継続や入域観光客数の増加などを主因に管内経済は活況を呈しており、融資件数は微増となりましたが、昨今の人手不足など供給サイドの制約による民間工事の進捗遅れや、好景気を背景としたセーフティネット資金需要の減少により、融資金額は前年度を下回りました。【図表－1】
2. 資金の用途別では、設備資金が構成比で58.0%、運転資金は同42.0%となり、企業の設備投資マインドの高まりが見られる一方、セーフティネット資金（運転資金）の需要減少により、設備資金の割合は前年度比7.1ポイント増となりました。【図表－2】
3. 資金別に見ると、中小企業資金は19億20百万円となり、セーフティネット資金等の減少で前年度比10億78百万円の減少、農林漁業資金は75百万円となり、29年度まで続いた大型設備投資の反動減で同614百万円の減少となりました。
生業資金は28億6百万円で前年度並みの実績となりましたが、このうちマル経資金（小規模事業者経営改善資金）及び沖経資金（沖縄雇用・経営基盤強化資金）の融資実績は合計146件（前年度比25.9%増）、15億20百万円（同36.8%増）と増加し、生業資金の過半を占めています。
また、教育資金は、200件（同5.3%増）、2億2百万円（同8.6%増）と、過去2番目となる高水準の実績となりました。沖縄公庫の独自制度である「教育離島利率特例」や「沖縄人材育成資金貸付」のほか、「母子家庭・父子家庭の利率特例」、「多子利率特例」等の利率特例制度のご利用実績がありました。【図表－3、4、5】
4. 業種別に見ると、建設業が10億28百万円、構成比20.3%（前年度比12.0ポイント減）と最も多く、次いで宿泊・飲食サービス業が8億42百万円、構成比16.6%（同8.7ポイント増）、製造業が8億34百万円、構成比16.5%（同2.0ポイント減）となりました。入域観光客数の増加に伴う観光関連産業の好況を受け、宿泊・飲食サービス業の旺盛な資金需要が反映されています。【図表－6】

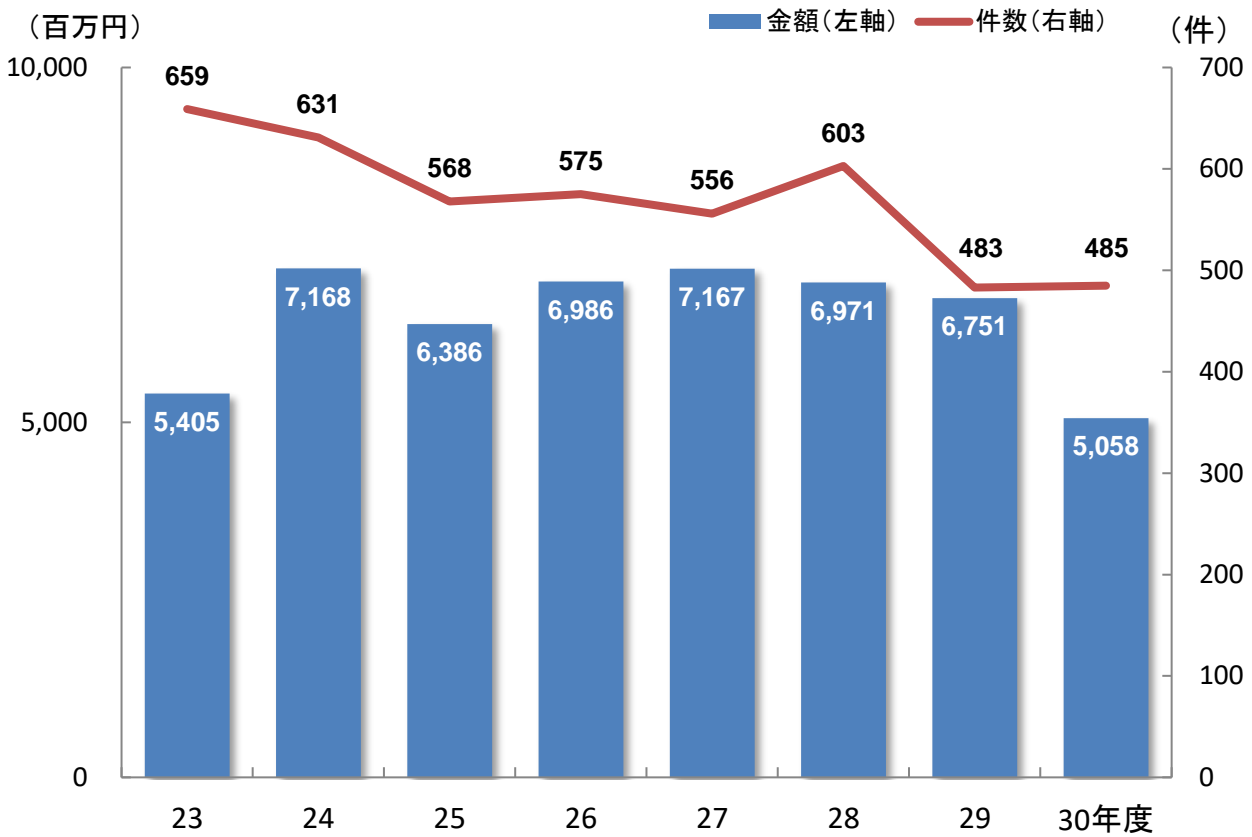
当公庫は、宮古圏域の持続可能な地域社会づくりに向け、引き続き商工会議所等の関係機関や民間金融機関との一層の連携強化を図りながら、事業承継支援や本店による大規模プロジェクトへの対応も含め、宮古圏域の多様な資金ニーズに適切かつ迅速に対応するよう努めてまいります。

記事に関するお問い合わせ

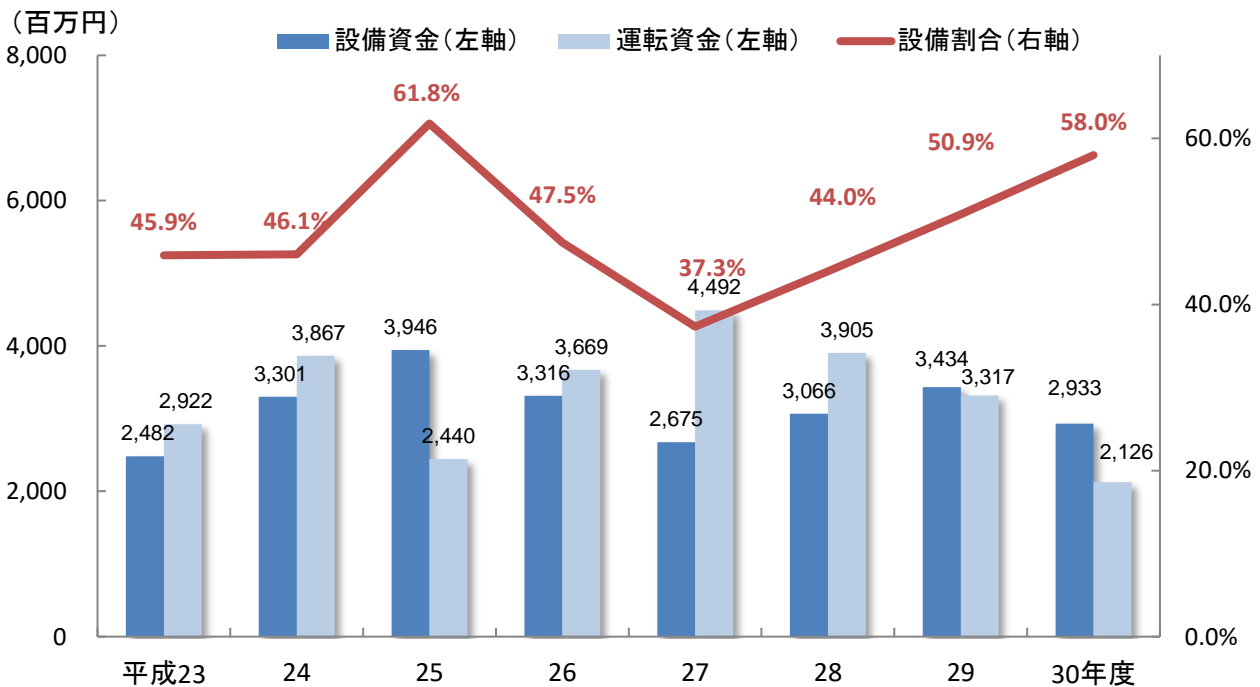
宮古支店（宮城、東）TEL：0980-72-2446

○ 沖縄公庫宮古支店の融資実績(1/3)

図表 - 1 融資実績の推移



図表 - 2 用途別の融資実績の推移



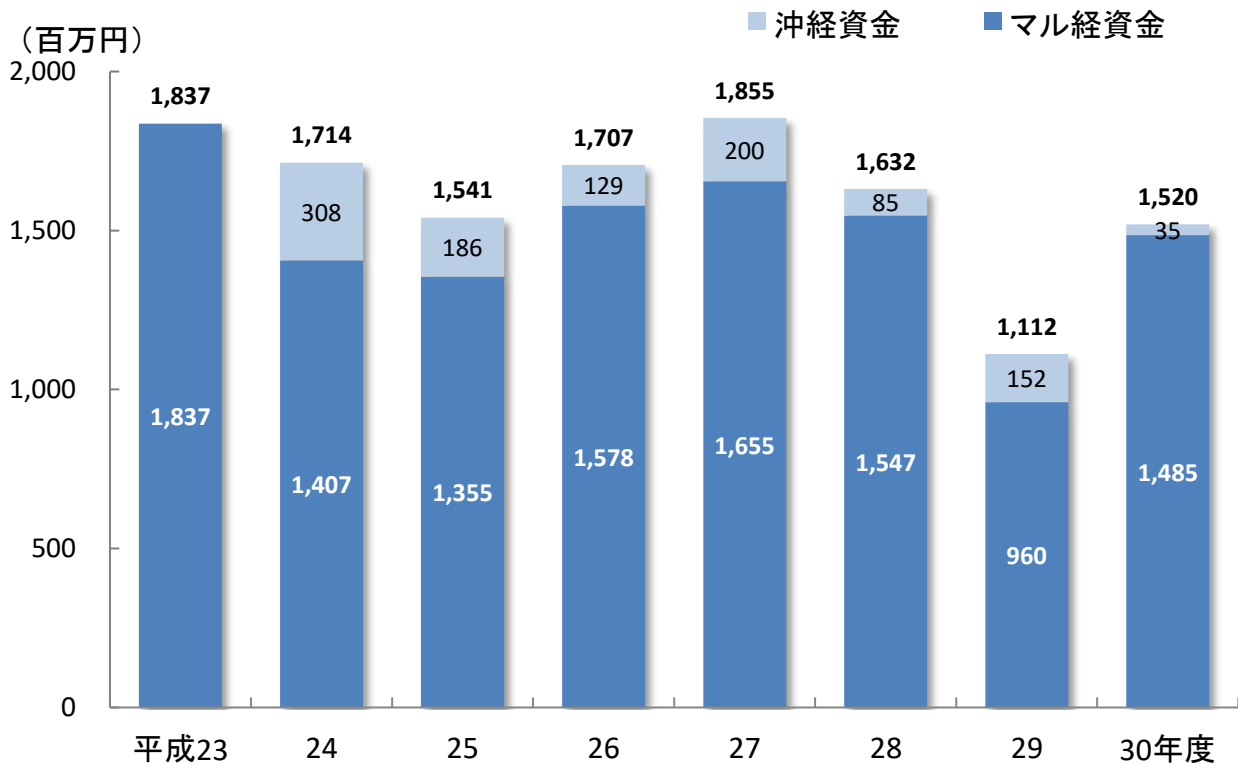
○ 沖縄公庫宮古支店の融資実績(2/3)

図表 - 3 資金別融資金額の推移

(単位:百万円)

	平成23	24	25	26	27	28	29	30年度
中小企業資金	1,269	2,325	1,118	1,837	1,794	1,670	2,998	1,920
生業資金	3,195	4,556	5,012	4,727	4,379	3,762	2,820	2,806
恩給担保資金	19	21	19	12	10	10	20	22
教育資金	109	106	99	127	117	227	186	202
(中小企業等資金 小計)	(4,592)	(7,008)	(6,248)	(6,702)	(6,300)	(5,669)	(6,024)	(4,950)
生活衛生資金	11	8	-	17	217	226	38	34
医療資金	-	-	-	-	-	209	-	-
農林漁業資金	802	152	138	266	649	867	689	75
合計	5,405	7,168	6,386	6,986	7,167	6,971	6,751	5,058

図表 - 4 「マル経資金」「沖経資金」の融資金額の推移

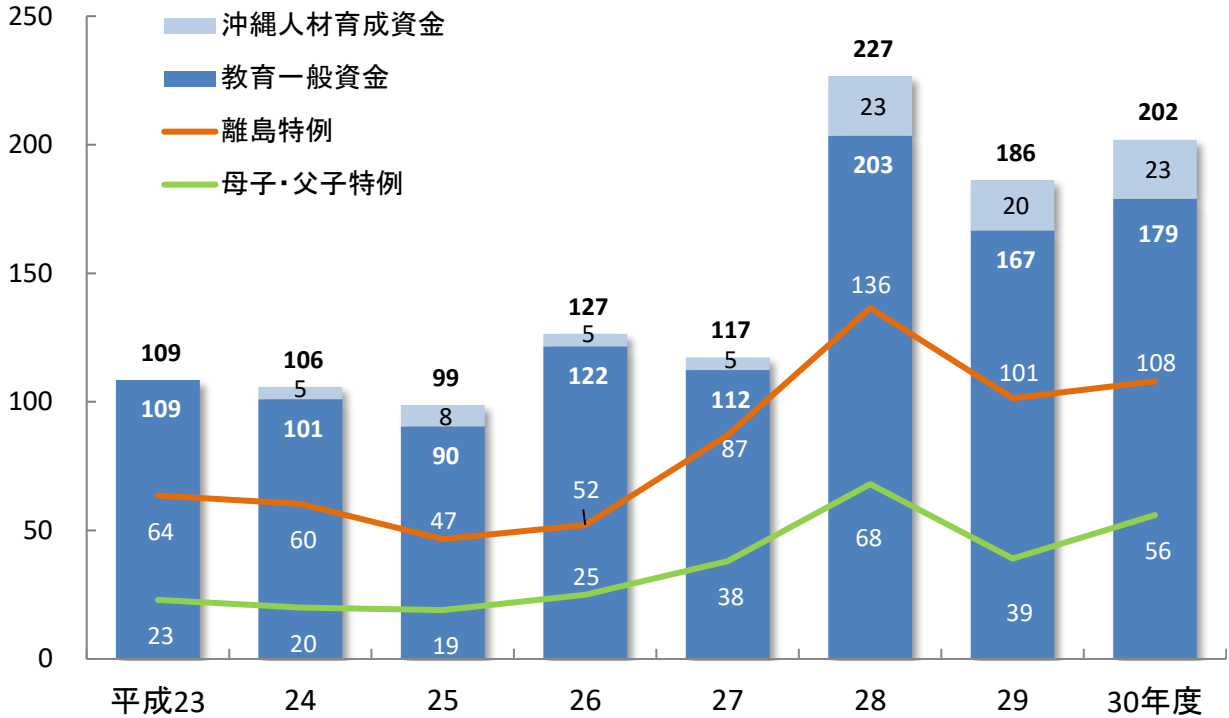


※沖縄雇用・経営基盤強化資金(沖経資金)は平成24年度に創設

○ 沖縄公庫宮古支店の融資実績(3/3)

図表 - 5 「教育資金」の融資実績の推移

(百万円)



図表 - 6 業種別融資金額構成比の推移

